

地域住宅計画の事後評価報告シート

1. 事後評価を実施した地域住宅計画	
① 計画の名称	白石地域住宅等整備計画
② 都道府県名	宮城県
③ 計画作成主体	白石市
④ 計画期間	平成23年度～平成27年度
⑤ 計画目標	『量から質への転換、既存ストックの有効活用、高齢化社会への対応を念頭に、豊で快適な住環境の構築を目指す』 『大規模な地震災害に備え、安全な住まいづくりを推進する』
2. 事後評価の内容	
⑥ 実施体制・時期	白石市にて評価を行う：平成28年5月
⑦ 事後評価の結果	<p>指 標 ①：「浴室のユニット化を図った市営住宅の割合」 定 義：浴室のユニット化した市営住宅の割合 評 価 方 法：目標値と実績値との数値判断 結 果：従前値：50%（平成22年度）→目標値：100%（平成27年度）→実施値：100%（平成27年度）</p> <p>結果の分析：計画どおり事業を実施した結果、目標を達成することが出来た。 今後も継続して、浴室のユニット化を実施し、市営住宅の居住性向上を図りたい。</p> <p>指 標 ②：「屋根の断熱化を図った市営住宅の割合」 定 義：屋根の断熱化した市営住宅の割合 評 価 方 法：目標値と実績値との数値判断 結 果：従前値：0%（平成23年度）→目標値：100%（平成27年度）→実施値：100%（平成27年度）</p> <p>結果の分析：計画どおり事業を実施した結果、目標を達成することが出来た。 今後も継続して、屋根の断熱化を実施し、市営住宅の居住性向上を図りたい。</p> <p>指 標 ③：「市内住宅の内、大地震時の安全性が確保されている住宅の割合」 定 義：耐震性のある住宅の割合 評 価 方 法：目標値と実績値との数値判断 結 果：従前値：56%（平成22年度）→目標値：90%以上（平成27年度）→実施値：64%（平成27年度）</p> <p>結果の分析：目標を達成できなかった。 相談窓口の設置、住民への啓発などを行ったが、目標を達成することができなかった。 今後も継続して、普及啓発に努めていきたい。</p>
⑧ 結果の公表方法	市のホームページに公表
3. 事後評価の結果を踏まえた今後の住宅施策の取組への反映等	
⑨ 今後の住宅施策の取組への反映	「浴室のユニット化を図った市営住宅の割合」及び「屋根の断熱化を図った市営住宅の割合」については、平成28年度から開始する白石地域住宅等整備計画（第3期）においても目標に掲げ、継続して事業を実施し、市営住宅の居住性向上を図っていく。
⑩ その他	特になし

※この事後評価は地域住宅計画について行ったものである。